

法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-27

甲第六十八号

(発行年 / Year)

1910

祕

甲第六十八號

明治三十九年九月二十八日配付

第五章 相續人ノ曠缺

第千五十三條 相續人アルコト分明ナラサルトキハ相續
財産ハ之ヲ法人トス

(參照)一〇五七一〇六〇、ダラウビュンデン四八三二項

第千五十三條 前條ノ場合ニ於テ裁判所ハ利害關係人又
ハ檢事ノ請求ニ因リ相續財產ノ管理人ヲ選任スルコト

ヲ要ス

裁判所ハ遲滯ナク管理人ノ選任ヲ公告スルコトヲ要ス

(參照)最三四二、三四三、二十三年非訛事件手續法一三乃至一

五、佛八一、一、八一二、同民訴九九八蘭一一七二一一七三、一

七四二項伊九八〇九八一、ダラウビュンデン四八二二ヲト

リヒ九二五乃至九二七、白草九三、四九三五、獨一草二〇五八、

二〇五九、同二草一八三七、一八三八

第千五十四條 第二十七條乃至第二十九條ノ規定ハ相続
財產ノ管理人ニ之ヲ準用ス

一

(参照)取三四四、三四五、三四六佛八一三、八一四、同民訴一〇〇。

○蘭一一七四、一項三項伊九八二、九八三、白草九三六獨一章
二〇六〇、二〇六二二〇六五二項

第千五十五條 管理人ハ相續債權者又ハ受遺者ノ請求ア
ルトキハ之ニ相續財產ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

(参照)取三四五佛八一四、同民訴一〇〇二、白草九三六二項獨
一章二〇六五二項

第千五十六條 第千五十三條第二項ニ定メタル公告アリ
タル後二ヶ月内ニ相續人カ現出セサルトキハ管理人ハ

遲滯ナク相續開始地ニ於テ一切ノ相續債權者及ヒ受遺
者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ
公告スルコトヲ要ス但其期間ハ二ヶ月ヲ下ルコトヲ得
ス

第七十九條第二項第三項及ヒ第千三十一條乃至第千三
十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但第千三十五
條但書ノ規定ハ此限ニ在ラス

(参照)取三四四、四項乃至三四六佛八一三、八一四、同民訴一〇〇
〇〇乃至一〇〇二、蘭一一七四、一項一一七六、伊九八一、二項
乃至九八三、グラウビヨンデン四八三、二項白草九三七九三
八獨一章二〇六二二〇六四、二〇六五

第千五十七條 相續人アルコト確實ナルニ至リタルトキ
ハ法人ハ存立セサリシモノト看做ス但管理人カ其權限
内ニ於テ爲シタル行爲ノ效力ヲ妨ケス

(参照)取三四七グラウビヨンデン四八二、四八三、一項

第千五十八條 管理人ノ代理權ハ相續人カ現出シテ相續
ノ承認ヲ爲シタル時ニ消滅ス

前項ノ場合ニ於テ管理人ハ遲滯ナク相續人ニ對シテ管
理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス

(参照)取三四七佛八一三末文、同民訴一〇〇二、蘭一一七四、三
項伊九八二、獨一章二〇六六

第千五十九條 第千五十六條第一項ノ規定ニ依リテ定メ
タル期間満了ノ後仍ホ相續人アルコト分明ナラサルト

キハ裁判所ハ管理人又ハ檢事ノ請求ニ因リ相續權ヲ有スル者ハ一定ノ期間内ニ之ヲ主張スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ六个月ヲ下ルコトヲ得ス

(參照取三四八二十三年非訟事件手續法一三乃至一六佛七
六八乃至七七二、蘭一一七五、グフカビュンデン四八二、獨一
草二〇六七同二草一八四一)

第千六十條 前條ノ期間内ニ相續權ヲ主張スル者ナキトキハ相續財產ハ國庫ニ歸屬ス此場合ニ於テハ第千五

十八條ノ規定ヲ準用ス

相續債權者及ヒ受遺者ハ國庫ニ對シテ其權利ヲ行フコトヲ得ス

(參照取三一五、三一六、三四八二十三年非訟事件手續法一七、
佛七六八乃至七七〇、八一三末文、澳七六〇、蘭一一七五伊七
五八、葡二〇〇六乃至二〇〇八タラカビヨンアン四九九、
ユーリヒ九〇六九〇七西九五六乃至九五八白草七九五、七
九六獨一草二〇六七四項同二草一八四一普二部十六章二
五、二六案二六二〇)

秘

甲第一八十九號

明治二十九年十月三日附付

第六章 遺言

第一節 總則

第千六十一條 遺言ハ本法ニ定メタル方式ニ從ヒテノミ
之ヲ爲スコトヲ得

(參照取三六八佛一〇〇一、澳六〇一、蘭一〇〇〇、伊八〇・四、八
三五、葡一七四〇・西六七〇、白草八一三、獨二〇三九、同一草一
九一一、同二草一九三七普國法一部一二草六六素二〇六四
二二〇三乃至二二〇九)

第千六十二條 滿十五年ニ達シタル者ハ遺言ヲ爲スコト
ヲ得

(參照四喪葬令若亡人存日處分條法曹至要鈔處分在附主意
事條取三五七佛九〇三、九〇四、澳五六九、千八百七一年七
月二十五日法蘭九四〇四五五伊七六三、一號グフカブノヨ
デン五〇二、フヨーリヒ九九三葡一七六三一七六四、三號西
六六二六六三一號六六六白草七五三獨二〇〇三、同二草一